

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 25 年 4 月 25 日 (2013.4.25)

【公開番号】特開 2011-221784 (P2011-221784A)

【公開日】平成 23 年 11 月 4 日 (2011.11.4)

【年通号数】公開・登録公報 2011-044

【出願番号】特願 2010-90123 (P2010-90123)

【国際特許分類】

G 0 6 F 9/445 (2006.01)

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 9/06 6 1 0 Z

A 6 1 B 5/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 3 月 12 日 (2013.3.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被検体の計測データに基づいて生成された画像と、画像閲覧アプリケーションとを可搬記録媒体に記録する記録手段を備えた画像診断装置であって、

前記可搬記録媒体の記録内容を読み取る読込装置側の使用目的に応じて、前記画像閲覧アプリケーションの自動起動を許可するか否かを判定する自動起動判定プログラムを前記可搬記録媒体に更に記録するプログラム記録手段を備えることを特徴とする画像診断装置。

【請求項 2】

前記自動起動判定プログラムは、前記読込装置の使用目的が患者情報の読み込みまたは画像の取り込みである旨の設定情報が予め設定されている場合は、前記可搬記録媒体が前記読込装置に挿入されたときに、前記画像閲覧アプリケーションを自動起動させないものとするためのプログラムコードを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の画像診断装置。

【請求項 3】

前記読込装置側の使用目的を設定するための設定情報を前記可搬記録媒体に記録する設定情報記録手段を更に備えることを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の画像診断装置。

【請求項 4】

前記自動起動判定プログラムは、前記画像アプリケーションが起動された場合に、前記読込装置側の使用目的に応じて前記画像アプリケーションにて表示される内容を制限するためのプログラムコードを含むことを特徴とする請求項 1 から請求項 3 のいずれかに記載の画像診断装置。

【請求項 5】

被検体の計測データに基づいて生成された画像と、画像閲覧アプリケーションとを記録した可搬記録媒体であって、

当該可搬記録媒体の記録内容を読み取る読込装置側の使用目的に応じて、前記画像閲覧アプリケーションの自動起動を許可するか否かを判定する自動起動判定プログラムが記録されていることを特徴とする可搬記録媒体。